



地域のお宝発見!! 修光寺の御本尊 (説明は15頁)

(写真 小川写友会)

- ・ 神社紹介
- ・ ここに生まれた
- ・ 歴史探索 一村のシンボルー
- ・ 小川に生きる
- ・ 図書館だより
- ・ 人生100年 私の生きがい
- ・ 社会教育・公民館関係役員
- ・ 路端の小さな命⑦
- ・ 生活古道③
- ・ 地域のお宝発見!!



## 瀬戸川皇大神社

瀬戸川平地区の中心部に鎮座する瀬戸川皇大神社。当社の由緒となる古記録古文書、棟札等は、明治10年4月26日の火災のため消失及び確認するものがなく、口碑によれば、当社創建の儀は慶長（1596―1615）安土桃山時代から江戸時代初期のころ、大和民族の祖神天照大御神の分霊を奉斎し、旧北小川地域の中央に位置し、総鎮守と奉称し、繁栄したといわれています。

瀬戸川皇大神社は、各集落毎に、埋牧地区の埋牧神社、甘越地区の甘越神社、南地区の南神社のほか、住吉神社と八王子神社の五社を、明治43年9月に瀬戸川皇大神社に合併しました。

終戦後、昭和21年より神社本庁所属の神社になりました。



## 馬曲神社

馬曲地区の西方山頂に鎮座する馬曲神社。当社の由緒となる創立は不詳であるとのこと、社殿建築は、徳川時代の寛政（1789―1791）年間に建築されたものといわれています。口碑によれば、一度災禍に遭い再建されたものとの伝えられています。

祭神は、天照大神を主神として祀られています。天照大神は日本民族の祖神となる故をもつての現れであると思われています。また、鹿嶋神である武甕槌命たけみかづちのみことを配祀されていますが、この地域は昔より地滑り地帯であったがために地震の守護神とし、また火の軻遇突智命かぐつちのみことは人間生活にとって一日たりともその恩恵をなくてはならぬ神として古より祀られてきたと伝えられています。馬曲の名は信濃地名考等にも最も古き聚楽として散見していません。馬曲組の守護神として旧藩時代から現在に至るまで氏神様として祭祀奉斎されています。



こころに  
生まれました



## 小川村での子育て

守屋美奈子さん（鶴牧田団地）

我が家には、2歳半になる長男朔（さく）と今年の5月に1歳になったばかりの長女杏（あん）の2人の子どもがいます。

漠然とですが、子育てするなら自然の豊かなところでしたいなと考えていました。小川村は私たちにとって理想の場所で、自然を身近に感じながら生活できるところがとても気に入っています。春は桜に山菜採り、夏は山



登りや虫取り、秋にはクライミングやキノコ狩り、冬は雪遊び・スキーなどの季節も楽しみであふれています。今のところどれも親の趣味で

すが、連れ出す中で子どもたち自身が何か感じてくれたらいいなと思っています。日々、土をいじって、虫をさわって、花を嗅ぎ、水の冷たさと気持ちよさを感じて…五感をフル稼働して楽しんでくれています。

子どもと過ごすようになってから、時間をかけて自然を楽しむようになった気がします。これまで車でさっと通り過ぎていた道も、子どもと一緒に散歩しているとかなかおもしろい場所であることに気づかされます。自然を子どもの目線で観察すると新たな発見に出会い、親も楽しい散歩時間です。ゆっ



くり・のんびり・気の向くままなんて数年前まで我が家にはないスタイルでしたが、いまではすっかり定着しています。(収穫量は激減していますが、しばらくはこのスタイルを貫きます。)

我が家の朔は大の虫好き。身近にたくさん虫がいるのも嬉しいことです。私は、カメムシがどうも好きにはなれずにいるのですが、朔はカメムシを見つけると大喜びで「カメちゃんいたー」と報告してくれます。近頃のブームはダンゴムシ。家の中でも放し飼いするのはやや困り気味です。彼の虫ブームも季節の中で変化しています。(どうか次の虫ブームもかわいい虫であってほしいと願う母です。)

妹の杏は、我が家の中で一番五感センサーがキレッキレで働いています。目に映るもの、手で触れられるもの、口に入れられ



るもの、いろんなものにワクワクできる最高の時間を過ごしています。家だとしてもベビーサークルに入っている時間が長くなってしまいがちですが、小川村の支援センターは、小さい赤ちゃんからでも安心して過ごせる場となっていて、娘も開放的に遊べて嬉しそうです。毎日のように利用させてもらっています。

小川村での子育てを通して、「『お母さん』をしている自分も好き」と思えるようになりました。声をかけてくださる地域の方、一緒に遊んでくれるお友だち、愚痴や悩みも共有できるママ友、心の支え、頼りになる保育園・支援センターの先生方、たくさんの方々を支えられて今があります。子どもたちとともに、私たちも成長していきたいと思っています。

1日でも長く、小川村での生活が続くよう…夫の転勤がないことを願います。



# 歴史探索

## 「村のシンボル」「山桜」

平成20年度に第5次小川村振興計画策定にあたり「美しく豊かな山里をめざして」をテーマに制定された「村のシンボル」をご存じですか？

現在、令和元年度第6次小川村振興計画が議決され、5年が経過しました。「日本で最も美しい村」連合に加盟し、北アルプス連峰を眺めることができる村の南北を貫通する幹線道路を「アルプスライン」と称し村のシンボルと同様に認知されていると思えます。今回「山桜」についての関連を調べてみました。



### ☆制定された理由

#### ○自立の村づくり!!

平成16年に「平成の大合併」で西山3町村での合併を模索に住民投票を実施。3町村の投票結果はそれぞれ別々の結果となり法定合併協議会を解散以降3年が経過し

ました。近隣町村が長野市・大町市へ合併するなか「小川村の将来を方向づけるための住民投票」が平成20年6月15日に実施し、「自立」を選択しました。

住民投票の結果を基に、6月26日「自立村づくり宣言」を行い、その後村のシンボル候補の公募を実施し、公募から候補の選定を行い村花・村木に「山桜」、村鳥に「うぐいす」に決定し振興計画とともに村議会で議決されました。

### ☆村花・村木は「山桜」!?

#### ○村の山桜?

サクラの種類には、「山桜」以外に「エドヒガンザクラ」、「ソメイヨシノ」、「カンザン」、「オオヤマザクラ」など色々あります。村内に自生及び植樹を合わせどのくらいあるか、10年前の平成26年5月号の広報、当時伊藤博文村長の村長通信に「めざそう1万本!」と7千本を超え8千本に迫っていると掲載されています。現在1万本達成したか未確認です。

### 自立の村づくり宣言

小川村は民意を踏まえ みんなの幸せを願うとともに  
小さな村でも心豊かに暮らせる郷土を子や孫に引き継ぐため  
みんなで手を携えて 地方自治の本旨に基き  
地域市町村と連携しながら 「自立の村づくり」を目指して邁進することをここに宣言します  
平成20年6月26日宣言

## ○山桜の特徴

昔から日本に自生する野生の山桜。現代では圧倒的に「ソメイヨシノ」が病気に弱く桜の中では短命といわれているが、成長が早く、花着きが淡いピンク色の木全体に房咲きの見栄えの良さから全国に広まった江戸時代末期に江戸染井村の植木屋が大島桜と江戸彼岸の交配によつて栽培された桜が有名ですが、山桜は白い花と赤みを帯びた若葉が同時に開くのが特徴です。

## ☆名所の起源

### ○庶民の憩いの場

村内に「二反田の桜」、「立屋の桜」など村の観光名所が整備されています。庶民の名所はいつ頃か調べてみると、江戸時代に徳川家光公が江戸の上野に菩提寺である寛永寺の境内に大和の吉野を模して桜を植樹させたのが始まりとの説があります。

### ○古来山桜の名所「吉野山」

吉野山は、熊野へ続く山岳霊場の北の入り口にあたり、平安時代から修験道の聖地として現代でも信仰が絶えません。桜の名所の由来は、吉野山で「役の行者」が山岳霊場で蔵王権現を感得し、桜の木に刻んで本尊と

して祀ったのが始まりで、それ以降桜は大切なものとして、多くの修験道がその信仰の証として桜の苗木を寄進し、やがて200種、約3万本の桜が爛漫と咲き誇る名所となりました。

## ☆サクラの不思議な関係？

### ○木に宿る：

サクラの花が咲くのは、農村では山の神が降りてきた証、「田の神」が美しい花となつて姿をあらわしたのが「サクラ」で「サ」はサ神、「クラ」は神の居場所である神座を意味し、田の神を客に迎えて宴をしたのが花見の由来ではないかとの説があります。

### ○サ神とは？

サクラはサ神の宿る木を表し、稲を植える月を「サツキ(皐月)」といい、田植えに降る雨を「サミダレ(五月雨)」、田に植える苗を「サナエ(早苗)」、植える女性を「サオトメ(早乙女)」といい、田植えの終わりを「サノボリ」といいます。田の神の祭りをする事から、サとは神のことで、サが降りる意味ではないかと民俗学の説があります。



西沢 寅夫さん

(和手)

「世紀の大工事」と言われた「黒部ダム」の建設。村内でもその建設に携わった方が12、3人ほどいました。その中のお一人、西沢さんにその当時のことを伺いました。



1964 (昭和39) 年8月1日  
関電トンネルトロリーバス運行開始  
※2024年8月で60周年目の節目を迎える

ちょうど日本が高度成長の時代だった昭和30年代。この時代は戦後の経済復興が急速に進み、特に関西地方では深刻な電力不足で社会問題にもなっていました。当時は、火力発電が主流でしたが、火力発電では当時の電力需要に対応できずそれを賄える大規模な水力発電が必要でした。そ

こで当時の関西電力の会長は、黒部はアルプスに挟まれ水が豊富で発電量も多く関西地方の産業発展に十分な電力を送電することができると思い、黒部ダム建設を決めたそうです。そして、昭和31年に黒部ダム建設が始まりました。

ダム建設は4つの工区に分かれ、第一工区はダム建設、第二工区は資材運搬、第三工区は発電所建設、第四工区は掘削作業とそれぞれ分担して作業をおこなったそうです。また、トンネル建設は熊谷組、ダム建設は間組、発電所建設は鹿島組と3社の建設会社で請負、その現場の指導、監督を関西電力の社員が行っていたとのこと。

そして、この建設に携わった西沢さんは、昭和35年に関西電力に入社。当初は電気課に配属され、2年ほど大町からダム建設場所まで電気を送っていた送電線の保守点検を行っていました。その後、庶務課に異動になり、扇沢第一工区に配属され社員、作業員の送迎や資材運搬を1年ほどしたそうです。この期間、宿舎は扇沢にありそこで普段は寝泊まりしていたとのこと。小川に帰省で



落盤事故の車両



きたのは正月くらいだったそうです。

その当時の思い出をお聞きしたところ、夜11時頃、ジープにボーリング作業の交代要員を乗せて扇沢を移動していた際、落盤がありボンネットに石が落ちてきたそうで間一髪で命拾いをしたことがあるそうでその時のことは今でも忘れられないと話されました。

また、扇沢から御前沢の宿舎に食料を持って行くことがあったそうですが、その道は崖に沿ってジグザクな道で傾斜もあり道幅も狭く大変だったことや、24時間体制の工事だったため夜中の事故も多く、よく現場まで関西電力の社員を送迎したことも思い出に残っているそうです。

黒部ダムは今も多くの観光客が訪れますが、ダム建設の土地交渉の際「完成したあかつきには一般公開するこ



第一工区 ダム建設  
1958年9月ダム定礎式



第二工区 資材運搬  
1957年12月大型ダンプロック  
(現在、大町市民文化会館)



第四工区 掘削作業  
1958年2月大町トンネル貫通  
(現在、関電トンネル)

「くろよん会」に参加しているそうです。以前は、全国から100人ほど集まっていたのですが、年々少なくなり、今では20人ほどになってしまいが寂しいと感じています。それでもまだ当時の思い出を語りあえる機会があり嬉しいとおしゃっています。

西沢さんも含め多くの人が携わった黒部ダム。お話を聞きして、何度か訪れた黒部ダムですが、また訪れて違う視点から黒部ダムを見たいと思います。西沢さん、貴重なお話ありがとうございました。

と」という文言が既に交わされていきました。西沢さんはダム完成後、大阪での1カ月の講習を受けた後、その言葉の一翼を担う扇沢と黒部ダムを結ぶ「関電トロリーバス」(通称トロボス)の運転手となり、定年までの40年間、多くの観光客を運びました。





# “ぶっくるたんぽぽ” 図書室をつかってみよう



本を借りるときは、裏表紙にある貸出カードに記入しカウンターのボックスへ。  
アナログなスタイルが逆に新鮮です

公民館に併設されている図書室。蔵書は約2万冊と、図書室としては県内でも規模が大きく充実している施設です。郷土資料や歴史書をはじめ実用書、小説、児童書や絵本まで揃っています。ちょっぴりレトロで、静かな時間を過ごせる「村の図書室」。利用してみてくださいね。わからないことなどありましたら、職員までお尋ねください。

## 基本情報

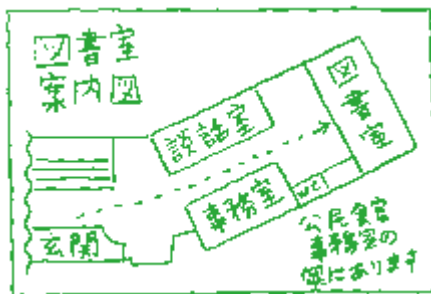
利用時間：9時～17時

休室日：月曜日（月曜日が祝日・振替休日の場合は火曜日）・年末年始（12/28～1/3）蔵書整理のため臨時休室する場合があります。

貸出冊数：5冊まで

貸出期間：2週間（新着本の場合は1週間）

利用対象者：村内・村外どなたでも



第115号  
図書委員会

## ブックスタート

～生後6ヶ月の赤ちゃんへ 本のプレゼント～

## 『子どもに読んで聞かせたい本は？』

令和5年9月から令和5年10月生まれの赤ちゃん

『きんぎょがにげた』  
五味太郎



清滝 彩人くん

『はらへこあむし』  
エリック・カール



篠崎 藍ちゃん

## 新しい図書委員より ごあいさつ

### 小泉さやか さん

図書室のホッとできる空間がとても心地よいと感じています。最近、子育て本や自己啓発本をよく読んでいますが、小説や漫画も大好きです。皆様のお気に入りの本についてもぜひ教えてください。気軽に声をかけてもらえるとうれしいです。よろしくお願ひします。

## 返却ポストは 村内3カ所

- 小川村公民館 図書室  
(毎週月曜休館)
- びっくらんど小川  
(毎週月曜休館)
- にこにこ保育園

- 本を借りる・返す
- 本を読む
- 読みたい本をリクエスト・予約する
- 県立長野図書館で予約(各自オンラインで)した本を受け取る
- デジとしょ信州(電子書籍サービス)の会員登録ができる
- 談話室では飲食がOK(図書室内は飲食できないため)
- Wi-Fiも使えます

## 図書室でできること



郷土の本コーナー



人気作家コーナー



宮沢賢治コーナー



毎月12~15冊が入庫する  
新刊コーナー



読書に没頭できる  
椅子エリア



お子さんと一緒に過ごせる  
絨毯エリア

## 夏のイベント おしらせ 「いいた人形劇フェスタ」に行こう！ 2024

開催日：8月2日(金)

対象：小学2~6年生

\*詳細は配布のチラシをご覧ください。

今年の夏のイベントは、図書室を飛び出して人形劇の世界を体験に行きます。みんなでバスに乗って夏の日を楽しみましょう！

毎年8月上旬に開催される日本最大の人形劇の祭典。全国、世界から約300劇団が一堂に会し、期間中は飯田市20地区の公民館や学校など約140の会場で400以上の公演が繰り広げられます。街中が舞台となり人形劇を鑑賞する多くの人で賑わいます。

## 人生百年 私の生きがい

### 「思い出を紡ぐ」

福島

連子<sup>むらこ</sup>（高府中町）

小川村に嫁いで60年になるといふ福島さん。手先の器用さを活かし、これまでにキルトや着物をリメイクした作品などを作ってきました。

本格的に始めたのは、子育てがひと段落してから。村の公民館でのキルト講習会へ、知人に誘われたのがきっかけだったそうです。基礎を学んだ後は、自己流で様々な作品を作ってきました。

その中には、そのまま捨ててしまふのはもったいないと、着物の生地をほぐしながら作ったというものもたくさんあります。こども



が小さいときに使っていた、手作り のねんねこや半纏などの生地を使った可



愛らしいキルト作品。先祖代々の着物の帯を使ったテールセンター。この日、福島さんが着ていたエプロンは、亡くなったご主人の敏寛さんのお祭り用の着物をリメイクしたものだそうです。

助産婦だった義母のあや雄さんの着物も、小物にして大切にしているそうです。今はスマホひとつで何でもわかる時代。皆でお茶をしながら裁縫だけでなくいろんな生活の知恵を教え合う。そんな古き良き時代の思い出や家族の思い出が、様々な形で新しく生まれ変わった福島さんの作品は、どこか懐かしく、温かい気持ちになるものばかりでした。「思い出に残るのが良いよね。」そう話してくれた福島さん。この思いが次世代へと繋がっていくように、新たな思い出を紡ぎます。



伊藤

喜教(細越)

(元郵便局員)

※車社会になる前まで毎日使っていた細い生活道路を、生活古道として紹介します。

前号に引き続き、昭和40年前後の地域で使われていた生活道路について、毎日郵便配達をした伊藤喜教さんにお話を伺いました。

朝8時に郵便局に出局し、鞆にハガキ、封筒、新聞を入れ、入らないのは補助袋へ、小包のある時は補助袋の上に載せて、北小川郵便局まで、徒歩で向かいます。当時の道路は砂利を敷き詰めたデコボコ道。雨が降れば西山地域特有の粘土に足をとられ、歩くのが大変だったとお話してくださいました。

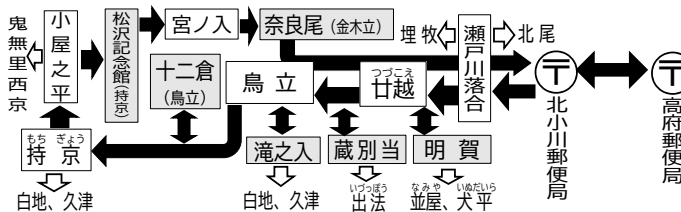
北小川郵便局から、瀬戸川落合を数件、甘越を入り、明賀を往復、甘越を過ぎて蔵別当を往復、鳥立を入り、滝之人を往復、鳥立を過ぎて十二倉を往復し、お昼は指定場所の持京まで沢沿いに登り休憩します。午後は山を越えて小屋之平、戻って持京の松沢記念館、宮ノ入、奈良尾を配達し、沢沿いに下って北小川郵便局まで戻り、郵便物・小包の集配が多い場合は別ルートでの配達員と分

けて16時頃までに高府郵便局まで持ち帰るコースを一筆書きで網羅します。

配達で歩く距離は約8里(約32km)。当時の履物はゴム足(地下足袋)、冬場は雨除けが付き裏地のない長靴で足が冷たくならない思い出や、熊除けに笛を鳴らしながら進んだり、肉体的にも疲れた時は、小川局長さんが時々いろは堂の羊羹の差し入れや、配達先のお宅で数えきれないほどお茶などいただき村民皆様に大変良くしていただきありがたかったと当時を語ってくださいました。

バイクによる配達へと切替、集落整備事業を活用し集落移転で消滅した集落とともに、細い生活道路は使われずに草木に覆われていきました。

配達コース (塗り潰しマスは、住居人がいない集落)



# 2024年度 社会教育・公民館関係役員

## 【社会教育委員会】

議長	花田 隆夫
副議長	塚田 綾子
委員	田中 千香
委員	塩崎 正昭
委員	小林 浩一
夏 和分館長	松本 幸一
〃 主事	佐藤 茂樹
久 木分館長	久田 肇
〃 主事	宮島 進
高府町分館長	三水 宏章
〃 主事	小林 雅樹
花 尾分館長	宮下 元夫
〃 主事	西澤 謙
上 野分館長	酒井 和英
〃 主事	高木 則昌
小根山分館長	峯村 和雄
〃 主事	伊藤 雅喜

## 社会教育・公民館関係役員

稲丘東分館長 和田 重孝

〃 主事 田澤 正信

稲丘西分館長 峰村 長男

〃 主事 徳武 知幸

成就分館長 川又 啓一

〃 主事 柴山 直樹

北 尾分館長 松本 武志

〃 主事 北澤 大樹

法 地分館長 宮下 守

〃 主事 坂口 次男

瀬戸川分館長 江成 康明

〃 主事 高戸谷佳子

◎古馬川分館長 伊藤 繁

〃 主事 伊藤 正

## 【スポーツ推進委員会】

委員長 小林 雅樹

副委員長 松本 武志

委員 和田 博之

委員 伊藤 聖寛

## 【視聴覚委員会】

委員長 川又 啓一

副委員長 和田 優孝

委員 丸田 勉

委員 和田 久憲

委員 大久保雅夫

委員 川又 康助

委員 横矢 匠

## 【図書委員会】

委員長 大沢 綾子

副委員長 木村めぐみ

委員 太田 冴加

委員 小泉さやか

## 【館報編集委員会】

委員長 三水 恵

副委員長 松本 真佑

委員 下藪 彩佳

委員 矢口 早苗  
委員 徳武 美江  
委員 佐野めぐ美

## 地域の家宝発見

### 修光寺（高府元町）

地域のお宝として、昭和38年頃まで現在の高府町公民館付近に「修光寺」がありました。このことについて、地元の方で小川写友会の久保田陽一さんに伺いました。

### 修光寺の変遷

古文状によれば、貞享2（1685）年 修光寺は金剛寺の隠居所として薬師如来を本尊として祀り、高府町の蓬田地籍の高台に建立されました。また、戦時中は、無住職のため都会から疎開した方の宿舎や高府町区民の集会所として利用されていました。

昭和38（1963）年に、県道長野大町線改良工事計画に伴い高府上町から釜蓋間の掘割で、取壊し移転で高府町公民館が新築することが決まり、修光寺を高木建設が落札することになりました。一方先代高木建設社長高木延雄氏は薬師敬神の念が厚く、金剛寺一角に修光寺を建立再現に当り鎮守堂を發起し高府町組祭事を始め有志を募り、落成しました。

ここに祀られている本尊は、左手に薬壺を持ち、脇侍に日光菩薩、月光菩薩を従事し、現生民衆の病症と心労の全快を期する大慈悲の薬師如来立像です。

祭事は、毎年8月15日に高府町区役員により執り行っていました。今年8月4日に執り行われます。



戦時中、修光寺に疎開し当時の様子を詳細に描いた「半田圭治」画伯が利用していました。

先日、画伯のご子息半田秀樹氏が小川村に絵画を寄贈いただきました。

絵画は、ふるさとらんど小川にて展示しています。

路端の隅でたたずんでいる動植物や石造物について紹介します。このコーナーに情報を提供したい方は公民館まで一報ください。

## 夏の訪れとともに

### ☆ホタルの時期に咲く花

梅雨の時期、いつの間にか飛び始めるホタル。このホタルの活動時期に咲く花があることをご存じですか？私たちの身近な野山に自生するキキョウ科の花「ホタルブクロ」です。立ち上がった花茎から各節に釣り下がった花を2〜5輪程度咲かせ、赤紫から白色の花、紫から青紫の花と、花の色も種類が多く、全体に小さな毛があるのが特徴といわれています。そんなホタルブクロの花言葉は「正義・忠実・愛らしさ・貞節」です。誠実さの花言葉が多いのは、花の形が教会の鐘を連想させているのではないかと考えられています。なぜなら、英語ではベルフラワー (Bellflower) 鐘の花と呼ばれています。



### ☆名前の由来…

日が沈むとともに、強い光を点滅する「ゲンジホタル」、それより弱い光を点滅する「ヘイケボタル」が活動します。最初はポツポツ見えていた光の点滅、闇の暗さに目が慣れてくると、光の点滅による大演奏に感動します。このホタルを虫カゴ代わりにしたのが名前のとおりホタルブクロです。昔は花

の中にホタルを入れて家に持ち帰るのに使ったんだとか。また、ホタルを入れると花から光が透けるので、提灯のようにして遊んだりもしたようです。こんな事から螢を入れる袋、ホタルブクロと呼ばれたり、提灯の古名が「火垂（ほたる）」というところから火垂袋と呼ばれることが多くなったようです。

### ☆咲く頃に…

実際、ホタルが出る前には咲き始めているホタルブクロの若芽、若葉、花にちよつと手を加えれば料理として楽しめます。特に花はクセのない淡白な味なため、酢の物は色がとても綺麗で、見た目からも楽しめます。よく水洗いしたホタルブクロの花を軽く茹で、お酢をかけると花のきれいな色が残ります。そこにお醤油やお砂糖などで味を整えて完成です。

ピーマンの肉詰めのようにホタルブクロの花にお肉を詰めても美味しいです。その他にもサラダ、天ぷらなど料理方法は様々。

料理まで楽しめる、魅力満点なホタルブクロでした。

